

南仏事件情報（2017年3月分）

（1）殺人，強盗等

- 90歳の女性が自宅で不審死（ブーシュ・デュ・ローヌ（B d R）県）
1日午後，マルセイユ市8区で，90歳の女性が自宅アパートで死亡しているのが発見された。突然連絡が取れなくなったとの通報を受けて警察と消防が自宅を訪れ，同女の遺体を発見した。遺体は死後数日経過しており，遺体は切り分けられてポリ袋で包まれていた。女性は1人暮らしで，トラブルは報告されていない。

- 37歳の女性が牧場で殺害される（ロット県）
3日午前，ゴルス市の牧場で，37歳の女性が自身の牧場で殺害された。捜査の結果，夫の犯行であることが断定された。犯行には猟銃が使用された。被害者には3人の子供がいたが，2016年2月から離婚に向けた手続きを始めており，夫とは別居していた。

- 諍いにより男性が殺害される（B d R県）
3日夜，マルセイユ市3区の路上で，21歳の男性がショットガンで撃たれて殺害された。現場はPMUバーの目の前で，被害者が店を出た直後，車で乗り付けた集団から銃撃された。被害者が銃弾を受けて崩れ落ちた後，襲撃者はさらに被害者に近づいて頭部に発砲した。

- 男性がナイフで殺害される（B d R県）
11日22時ごろ，マルセイユ市3区のサン・シャルル駅付近で，24歳の男性がナイフで刺されて死亡した。事件は食料品店内での複数の若者による諍いが発端だったとみられている。被害者は腹部とのどを複数切られていた。警察は，被疑者の行方を捜している。

- シテでカラシニコフによる復讐劇（B d R県）
18日15時ごろ，マルセイユ市13区のシテで，20歳の男性がカラシニコフで銃撃されて死亡した。目撃者によると，襲撃者は3人の男で，うち1人が銃で武装していた。複数の弾丸を体を受けた男性は，自宅のあるアパートの階段をよじ登ったが，入口ホールで息絶えた。現場からは10数発の空薬きょうが発見された。

- 17歳男性が銃撃を受けて負傷（B d R県）
19日20時ごろ，マルセイユ市14区のシテで，ホールに集まっていたグル

ープに向けて2人組が銃撃をおこない、17歳の男性が臀部と肩、背中に銃弾を受けて負傷した。襲撃者は、共犯者が運転する車に乗って逃走した。現場には、猟銃とけん銃の薬きょうが15発以上転がっていた。

● 武装強盗がレストランを襲撃（B d R 県）

25日午前2時ごろ、マルセイユ市8区のレストランに、2人組の覆面武装強盗が押し入り、その日の売上金1,000ユーロ余りを奪って逃走した。犯人は依然として逃走中である。警察によると、本件のような強盗事案は、2016年は2012年と比べて54%減少しているとのこと。

● スーパーで子連れ女性が殺害される（B d R 県）

29日19時ごろ、マルセイユ市10区のスーパー（Auchan）の青果売り場で、買い物をしていた38歳の女性が、40歳代の女からナイフで刺され、搬送先の病院で死亡した。切創は7カ所に及び、肺にまで至っていた。被害者の女性は3人の幼児を連れていた。

（3）その他

● 男性の遺体が発見される（B d R 県）

4日午前、オヴァーニュ市とカルノー市間の丘で、男性の遺体が発見された。遺体は激しく損傷していたが、捜査の結果、手製の火器が爆発したことによるものだと考えられている。男性は60歳代とみられ、警察が身元の特定をおこなっている。

● 元兵士2人が強姦容疑で逮捕される（B d R 県）

5日、マルセイユ市1区で、元外人部隊の31歳の男と脱走兵だとされる男が、強姦・監禁・傷害・窃盗の容疑で逮捕された。ホテルの部屋から叫び声が聞こえるという通報を受けて警察が出動し、事件が発覚した。3人は金曜の夜に知り合い、被疑者からホテルの部屋で飲もうと提案されたという。被害者の男性は椅子に縛られた状態で暴行を受けており、ただちに病院に運ばれた。

● 警察署に火炎瓶が投擲される（コルス・デュ・シュッド県）

10日深夜、アジャクシオ市の警察署に火炎瓶が投げ込まれた。これによる怪我人は出なかったが、複数の駐車車両が損傷した。警察は、17歳の少年を逮捕した。同警察署は、2月17日にも同様の被害を受けている。

● 数十台の車両への放火容疑で男を逮捕（B d R 県）

10日、アルル市で、2ヶ月間にわたり数十台の車両に放火した容疑で、21歳の男が逮捕された。

● 興奮した元夫が銃弾で負傷（B d R 県）

14日20時ごろ、フォス・シュル・メール市で、35歳の男性が、元妻の自宅を訪れ、玄関を打ち破って侵入した。自宅には、元妻とその子供、元妻の両親がおり、元妻の父親は、ただちにけん銃を取り出して侵入者に発砲した。元夫は親指を失った。現場に駆けつけた警察は、発砲した父親を逮捕し、家宅捜索でけん銃2丁を押収した。

● 遊技場で露出狂が逮捕される（B d R 県）

19日午後、マルセイユ市8区のプラド交差点近くの遊技場で、酩酊した男が遊んでいた男の子に対してズボンを下ろして性器を露出した。男は、通報を受けて駆けつけた警察に身柄を拘束された。男は56歳で、逮捕に対して抵抗しなかった。事件当時、現場は天気が良く人出が多かった。

● 科学者気取りの男が6kgの爆発物を所持（ヴォークルーズ県）

20日、アプト市で、自宅での爆発物の製造・所持・輸送の容疑で男性が拘束された。容疑者に対して硝酸アンモニウム（爆発物を製造するのに使われる薬品）を販売した業者が当局に通報したことで家宅捜査に至った。容疑者は、「実験をするために所持していた。」と説明しているという。6kgもの爆発物の発見により、街の中心部はパニックに陥った。現在までのところ、テロとの関連は発見されていない。容疑者は、今年の1月にも引越しの際に自爆ベルトをゴミ箱に捨てて大騒ぎを起こしている。

● 娘2人を道連れに自殺を図る（B d R 県）

22日22時45分ごろ、ブック・ベル・エール市で、60歳代の男性が、6歳と11歳の娘を部屋に閉じ込め、自宅にガソリンを撒いてガスボンベを設置した状態で、手首を切って倒れているところを通報を受けて駆けつけた憲兵隊から保護された。男性は躁鬱病を患っており、大量の薬とアルコールを摂取していた。当時パリに出張していたパートナーの女性が、男性からの自殺をほのめかす電話を受けて憲兵隊に通報したことから、最悪の事態を回避できた。

● 男性が銃弾を受けて負傷（B d R 県）

25日22時30分ごろ、マルセイユ市15区のシテで、19歳の男性が自宅アパートの入り口で銃撃を受け、顔面と首を負傷して病院に運ばれた。現場か

らは、9ミリ弾の薬きょうが発見された。

● 週末にディスコで2件の発砲事件（オート・ガロンヌ県）

25日と26日の夜、トゥールーズ市内のディスコで、相次いで発砲事件が発生した。土曜の朝方、ディスコの店内で腕時計を盗まれた客が、店の外に出た被疑者を追いかけた際に、被疑者から散弾3発を撃たれ、太ももを負傷した。また、日曜日は、別のディスコで、ナイフを持っていたことで入店を断られた酩酊客が、同ディスコの警備員に対して発砲した。警備員に怪我はなく、被疑者はその場で逮捕された。

● 3日間で459点を万引き（オート・ガロンヌ県）

27日、トゥールーズ市郊外で、窃盗の罪で女3人が警察に逮捕された。被疑者はルーマニアから24日にトゥールーズに到着し、3日間で近郊の店を荒らし、服459点と現金を所持しているところを職務質問された。滞在先のホテルには重量120kg、時価15,000ユーロ相当の商品が発見された。被疑者らは、金属探知機に反応しないように加工されたバッグなどを準備していた。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。